

じゅんじゅん順子の区政報告

区長退職金減額についての答弁

区長の退職手当は、おおむね5年ごとに行われる国家公務員の退職手当支給水準の見直しによって、官民均衡を確保することを背景に、区職員の退職手当の見直しの状況や他の特別区との均衡等を勘案して改定案を作成し、葛飾区特別職議員報酬等審議会の意見聴取を経て議会に条例案を提案し、議決を経て決定をしております。現在の区長の退職手当額につきましては、葛飾区特別職議員報酬等審議会において、区民に最も身近な自治体の長としての職務・職責に応じた適切な額か、将来において有為な人材が職を賭して区長への立候補を志していただくためにも必要な額かといった視点からも審議し、特別区間のほぼ平均となっていることから区長の退職手当額は妥当であるとの御意見をいただいておりますので、御理解をいただきたいと考えております。

23区区長退職金

1	台東区	2728万円
2	江戸川区	2436万円
3	千代田区	2417万円
4	江東区	2314万円
5	北区	2294万円
6	港区	2244万円
7	荒川区	2200万円
8	大田区	2194万円
9	板橋区	2043万円
10	新宿区	2029万円
11	中央区	2025万円
12	葛飾区	2019万円
13	世田谷区	1999万円
14	練馬区	1980万円
15	足立区	1941万円
16	目黒区	1899万円
17	文京区	1894万円
18	豊島区	1754万円
19	品川区※1	1751万円
20	渋谷区	1644万円
21	墨田区	1538万円
22	中野区	1535万円
23	杉並区※2	1502万円

23区推定平均所得

1	港区	1846万0562円
2	千代田区	985万1789円
3	渋谷区	911万6523円
4	中央区	712万4560円
5	目黒区	638万7933円
6	文京区	624万1259円
7	世田谷区	572万1772円
8	新宿区	561万4122円
9	品川区	517万1825円
10	杉並区	478万1469円
11	豊島区	465万8392円
12	江東区	462万7404円
13	台東区	446万0378円
14	大田区	444万5706円
15	中野区	432万2020円
16	練馬区	429万8555円
17	墨田区	405万5092円
18	北区	389万6760円
19	荒川区	387万8342円
20	江戸川区	378万1858円
21	板橋区	377万3174円
22	足立区	357万0009円
23	葛飾区	356万8147円

23区財政調整基金

各区の人口

1	杉並区	575億円	93万8602人
2	港区	573億円	26万5028人
3	大田区	515億円	74万1167人
4	渋谷区	446億2,727万円	24万2518人
5	足立区	444億円	69万3593人
6	練馬区	439億円	75万0904人
7	世田谷区	418億円	93万8602人
8	江戸川区	400億円	69万0779人
9	千代田区	385億2,300万円	6万7087人
10	江東区	363億円	52万8611人
11	目黒区	348億円	28万4550人
12	中野区	344億円	34万4099人
13	中央区	279億7,000万円	17万2100人
14	板橋区	275億円	58万2585人
15	新宿区	260億円	35万0664人
16	墨田区	249億円	27万5028人
17	葛飾区	200億円	45万2583人
18	北区	195億円	35万3760人
19	豊島区	187億円	30万2778人
20	文京区	185億円	24万2049人
21	品川区	176億円	41万9272人
22	荒川区	147億円	21万7724人
23	台東区	116億円	21万4834人

(※1) 給与と退職金を2割減額すると表明

(※2) 退職金を25%減額すると表明

出展・区役所へ電話での聞き取り

出展：総務省

出展：東京都総務局統計部

おおにし

順子
じゅんこ

発行元：おおにし順子後援会 葛飾区亀有3-4-11-1304



じゅんじゅん順子の区政報告

ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安などで、エネルギー（電気、ガス）をはじめとして食料品などの生活物資が類を見ない値上がりをしており、葛飾区民は大きな打撃を受けています。

そのような状況下で、葛飾区は本年4月から区立小中学校の給食費を無償とすることとしました。都内の23区では、葛飾区を含めて8つの自治体が無償化に踏みきっております。

しかし、就学援助を受けている家庭では既に給食費（小学生年間1人あたり4万2900円～4万9390円、中学生年間1人あたり5万8080円分）は無償化されていますので、今回の措置では何ら困窮者支援になりません。

そこで私は就学援助を受けている児童・生徒の家庭に対して、同額の金額分のお米や区内商店街商品券を給付すべきであると考えております。また、低年金だけで暮らしている高齢者世帯に対しても同様の措置を取るべきだと考えております。

インターネット検索サイトで「23区平均年収ランキング」を検索すると、ついに葛飾区はお隣の足立区に抜かれ、最下位となってしまいました。非正規雇用やアルバイトで生計を立ててこられた世帯が、コロナ渦で職を失ったり、就業時間を減らされたりした結果だと思われます。

新宿区（推定平均年収約560万円）は、本年4月から小学校新一年生に5万円、中学校新一年生に10万円のお祝い金を支給することを決定しました。私は葛飾区（推定平均年収約350万円）でも早急に同様の措置をとるべきだと思います。

物価の高騰が続き、葛飾区民にとっても未曾有の経済危機が訪れていると私は実感しています。今こそ、葛飾区行政は区民のために積み立ててきた積立金を児童・生徒、高齢者、生活困窮者等、社会的弱者のために取り崩して給付し、生活を支援すべきであると考えます。

おおにし 順子
じゅんこ

討議資料



おおにし順子のホームページはこちらからご覧いただけます

